

プレスリリース



日本最大の恐竜博物館コレクションが東京の中心へ集結！

読売新聞社、福井県立恐竜博物館、東京タワーは、2011年3月12日(土)から6月12日(日)まで「大恐竜展 in 東京タワーー福井県立恐竜博物館コレクションー」を開催します。

本展覧会は、恐竜博物館としては日本最大かつ世界有数と言われる福井県立恐竜博物館が所蔵する選りすぐりの恐竜標本コレクションから約60点を、日本を代表する観光名所・東京タワーの特設会場で紹介するものです。

会場では、恐竜が生きた時代である、中生代の三畳紀後期(約2億3000万年前)から白亜紀後期(約6550万年前)へと順を追って様々な恐竜の出現を追うことができます。また、欧米の恐竜だけでなく多数のアジア産恐竜が展示されるのも本展の特徴で、全身復元骨格約25体が一堂に並ぶ展示は圧巻です。



東京タワー (画像1)



福井県立恐竜博物館

(画像2)

それら恐竜標本の数々に加え、恐竜の生態を描くCG映像を大スクリーンで上映する「ダイノシアター」、「触れる恐竜化石」、恐竜に関する素朴な疑問に答える「恐竜学入門」の解説パネルなども随所に展示される予定です。

恐竜ファンのみならず、すべての人が見逃せない、2011年の「恐竜展」決定版です！

見どころ

1. 恐竜の骨格・化石標本約60点を展示。圧巻は、恐竜の全身復元骨格の数々。貴重な骨格標本約25体がずらりと並びます！
2. よく知られる欧米の恐竜だけでなく、知られざるアジアの恐竜を多数展示！
3. 中国初の竜脚類恐竜「エウヘロプス」の復元骨格(約8m)を特別公開！
4. 全長約12mの大型肉食恐竜「アクロカントサウルス」の復元骨格を展示！
5. 恐竜の生態を精巧に再現したCG映像「ダイノシアター」を上映！
6. 日本最大級の恐竜博物館、福井県立恐竜博物館の活動を通して、ニッポンの恐竜研究最前線を紹介！

展覧会概要

【展覧会名】 大恐竜展 in 東京タワー – 福井県立恐竜博物館コレクション –

【会 期】 2011年3月12日(土) – 6月12日(日) 会期中無休

【開場時間】 午前10時 – 午後6時

※土・日・祝日、4/29 – 5/5のGW期間中は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで

【会 場】 東京タワー フットタウン1階特設会場

東京都港区芝公園4-2-8 TEL.03-3433-5111 <http://www.tokyotower.co.jp>

◎アクセス:大江戸線「赤羽橋」駅より徒歩5分/日比谷線「神谷町」駅より徒歩7分/三田線「御成門」駅より徒歩6分/浅草線「大門」駅より徒歩10分/JR「浜松町」駅より徒歩15分



(画像3)

【入 場 料】 大人<高校生以上> 1,000円(800円)

子供<中学生以下> 500円(400円)

※カック内は前売り料金。 ※3歳以下無料。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料。



<チケット販売場所>

電子チケットぴあ(Pコード:987-112)、ローソンチケット(Lコード:33399)、イープラス(<http://eplus.jp/>)、JTB・JTBトラベランド・JTB 総合提携店 店頭ほか。12月22日より発売。

【公式ホームページ】 <http://www.dino2011.jp/>

【展覧会のお問い合わせ】 読売新聞東京本社事業開発部 Tel.03-5159-5895

【主催】 読売新聞社、福井県立恐竜博物館、東京タワー

取材に関するお問い合わせ

大恐竜展 広報事務局/アートベンチャーオフィス ショウ内

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-44-7 パークサイドビル2F

TEL: 03-3485-7910 FAX: 03-3485-7851 E-mail: avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

主な展示構成と標本

三畳紀後期(約 2 億 3000 万年前～約 2 億年前)

恐竜が陸上の世界で主導権を持つようになり始めた三畳紀後期、すべての大陸がひとつになっていた超大陸「パンゲア」が存在していました。そこで、恐竜は世界的な規模で勢力を広げていったのです。

三畳紀後期、最大級の草食恐竜

プラテオサウルス (産地:ドイツ) 学名:*Plateosaurus engelhardti*



(画像 4)

三畳紀後期後半にはすでに多種多様な恐竜が存在していました。プラテオサウルスは、この時代にもっとも有名な恐竜で、当時では最大級の草食恐竜でした。長い首を利用し、高いところにある植物を食べていたといわれています。全長約 6m。

ジュラ紀(約 2 億年前～約 1 億 4500 万年前)

ジュラ紀に入ると、三疊紀にすでに繁栄していた竜盤目の恐竜に加えて、鳥盤目の恐竜も繁栄し始めました。恐竜は大型化し、全長 30mもある竜脚類の恐竜も登場し、また肉食恐竜からは最初の鳥類である始祖鳥が進化しました。

アジアの「ステゴサウルス」

トゥオジャンゴサウルス(産地:中国) 学名:*Tuojiangosaurus multispinus*



首から尾にかけて左右対称に並んだ 17 対の骨板とトゲがあり、肩には長くとがった角上の骨板があります。背丈の低い植物を食べていたと考えられています。今回の展覧会では、同じ「剣竜」のスーパースターであるステゴサウルスと並んで「共演」します。全長約 6m。

(画像 5)

大型肉食恐竜の先祖

スゼチュアノサウルス(産地:中国)

学名:*Szechuanosaurus zigongensis*

およそ 70 年前に中国で見つかった一本の歯にもとづいて属名 (*Szechuanosaurus*) が付けられた肉食恐竜です。近年になり、下顎の一部や脊椎骨、肢骨、腰骨などが発見されました。全長約 6m。



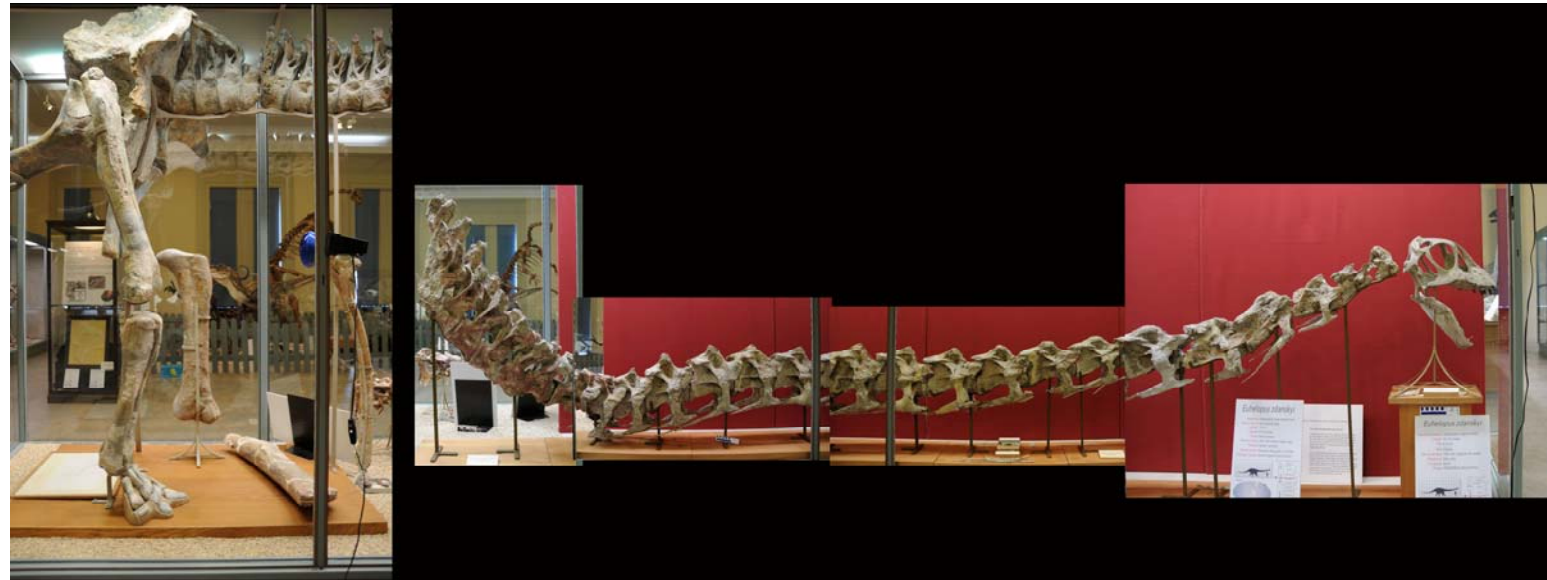
(画像 6)

白亜紀(約 1 億 4500 万年前～約 6550 万年前)

白亜紀は温暖で海が広がった時代です。肉食恐竜が多様化し、大型のものも登場しました。白亜紀の終わりには現在のメキシコに直径約 10 km の隕石が衝突し、恐竜や翼竜を絶滅に追いやったと考えられています。

アジアの恐竜史に足跡を残す歴史的恐竜

エウヘロプス(産地:中国) 学名:*Euhelopus zdanskyi*



(画像 7)

アジアでは、これまで数多くの竜脚類恐竜が発見されていますが、その歴史の幕開けとなったのが、20 世紀初頭に中国山東省の白亜紀前期の地層から発見されたエウヘロプスです。この恐竜は、中国で初めて学名が付けられた竜脚類恐竜です。

この標本の実物化石は、発掘当時の事情からスウェーデンのウプサラ大学に保管されています。本展ではその複製を展示しますが、所蔵する福井県立恐竜博物館以外での展示は今回が初めてとなります。約 8m。

日本初の羽毛恐竜

ドロマエオサウルス類 (産地:日本)



(画像 8)

(画像 9)

2007 年夏、福井県勝山市の地層から掘り出された約 160 点の化石をもとに復元された、国内初の羽毛恐竜です。

新しい種として学名が付けられることが期待されています。

全長約 2m。

史上最大級の肉食恐竜

アクロカントサウルス(産地:米国) 学名: *Acrocanthosaurus atokensis*



(画像 10)

ティラノサウルスは白亜紀後期最大級の肉食恐竜として有名ですが、アクロカントサウルスは白亜紀前期の最大級の肉食恐竜として知られています。生息時の生態系では、最大の捕食者でした。非常に保存の良い前肢(前足)が残っていたため、その動きに関して研究がなされています。それによると、前肢はうまく動かすことができなかつたため、口で獲物を捕まえていたと考えられています。首から背中にかけてトゲの突起が伸びていることも特徴です。全長約 12m。

鋭い歯を持つ「恐ろしいトカゲ」

ゴルゴサウルス(産地:カナダ) 学名: *Gorgosaurus libratus*



(画像 11)

学名は「恐ろしいトカゲ」という意味。鋭い歯、長い後ろ足が特徴です。約 1mの頭骨と 1トン以上の体重を持ち、成長が早い時期には 1年で 110kgも体重が増えていたと考えられています。全長約 7.5m。

日本で初めて学名が付いた恐竜！

フクイラプトル(産地:日本)

学名:*Fukuiraptor kitadaniensis*

福井県勝山市で発掘された化石にもとづき、日本で初めて全身骨格が復元された肉食恐竜。大きな手の爪や走行に適した長い後ろ足が特徴です。全長約 4m。



(画像 12)

(画像 13)



日本で初めて全身骨格が復元された恐竜！

フクイサウルス(産地:日本) 学名:*Fukuisaurus tetoriensis*

比較的保存の良い頭骨にもとづいて日本で初めて学名が付いた草食恐竜。上顎の骨の形に特徴があります。全長約 5m。



(画像 14)



(画像 15)

翼開長 7m！巨大な空飛ぶ竜

プテラドン(産地:米国) 学名:*Pteranodon longiceps*

大型の翼竜で、数多くの化石標本が見つっています。頭には特徴的な後方に向けたトサカがあります。このトサカの形は雌雄で異なり、雌のほうが小さくて丸かったと考えられています。腹部から魚の骨が見つかった化石があり、魚を食べていたものと考えられています。翼開長約 7m。



(画像 16)

その他の展示

ジュラ紀の恐竜の生態を再現！

「ダイノシアター」



(画像 17)

中国の四川盆地は、ジュラ紀中期から後期にかけて森林が分布し、豊かな恐竜たちの生活の場所だったとされています。特に、四川省自贡市からは大量の恐竜化石が発掘されています。

「ダイノシアター」は、その地域を舞台に、肉食恐竜ヤンチュアノサウルスが巨大な草食恐竜オメイサウルスを襲う「狩り」の生態を描いたCG映像です。本展では、このCGを会場内の大スクリーンでご覧いただけます。



(画像 18)

【福井県立恐竜博物館】



福井県は、1989年から勝山市北谷で恐竜化石の発掘を実施し、数多くの恐竜化石を発見してきました。福井県立恐竜博物館は、この成果をもとに、2000年に開館した恐竜の分野では国内最大の博物館です。日本一の恐竜化石発掘現場(日本全国の恐竜化石発掘量の約8割を産出)を舞台に、次々と「日本初」の研究成果を上げ、研究機関としても世界から注目を集めています。恐竜の卵をイメージさせる4500㎡という広大なドーム型展示室には、40体もの恐竜骨格をはじめとして千数百もの標本の数々、大型復元ジオラマや映像など趣向を凝らした展示が紹介されています。



(画像 19)

福井県勝山市村岡町寺尾 51-11 (かつやま恐竜の森内)

TEL. (0779) 88-0001

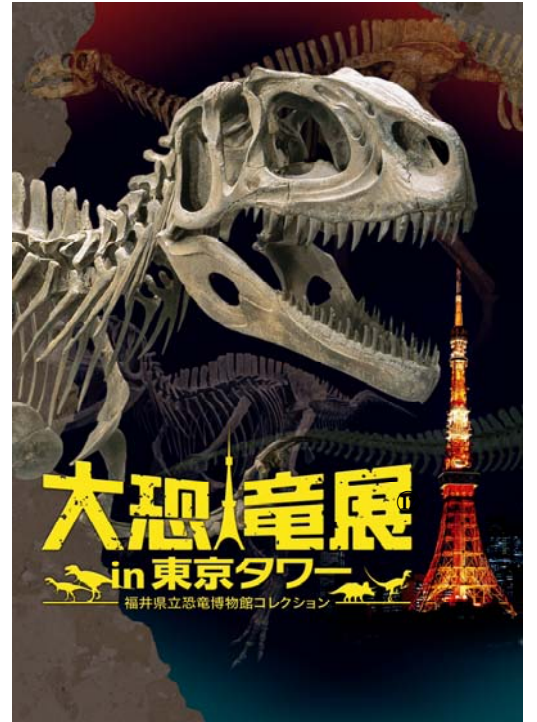
<http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/>

博物館のイメージキャラクター
「ダイノベンチ恐竜博士」

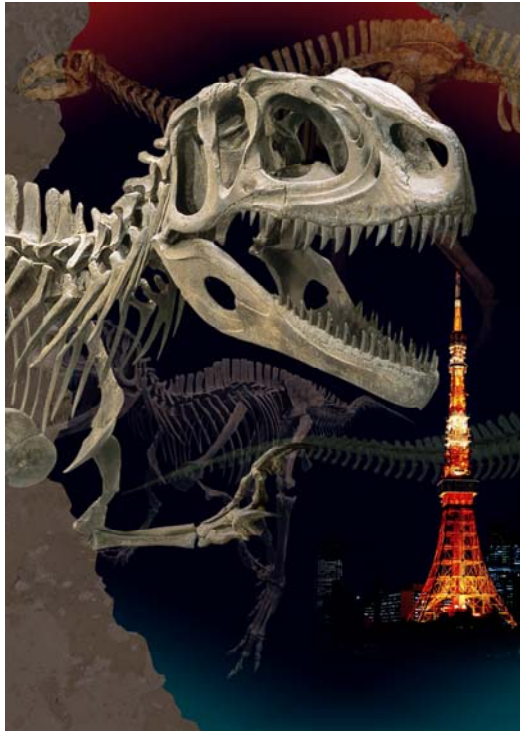
【展覧会イメージ】



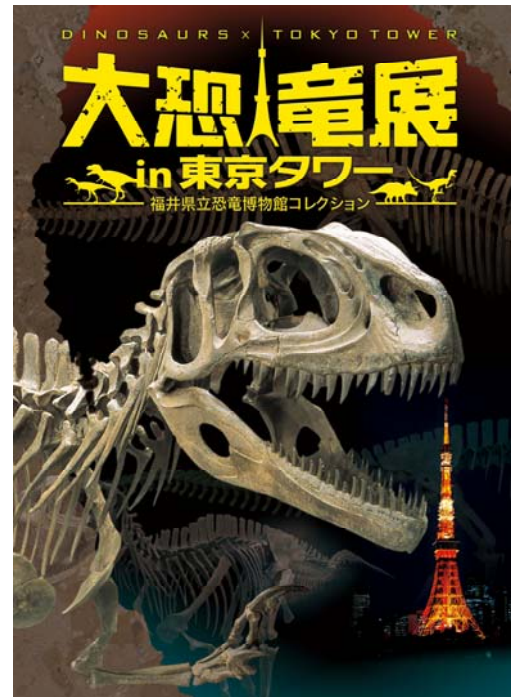
(画像 20)



(画像 21)



(画像 23)



(画像 22)



(画像 24)